

答

2月に約2週間にわたり、ローズコム西交差点から野上町交番前交差点の約500メートルで両側の車道上に自転車レーンを設置し、自転車走行の安全性の確認路線バスの運行や交差点部の交通処理への影響などを検証する予定である。

◇関連質問

・自転車道を含めた歩道の整備状況について（新政クラブ）

防犯灯の維持管理とLED化は

問

現在、自治会等が設置した防犯灯は約3万2000灯あり、管球等は中国電力により無償交換されているが、来年度からこの事業が廃止される。今後の防犯灯の維持管理の依頼先や、LED化に伴う費用負担などの本市の基本的な方針は。

答

市の負担により来年度から3カ年でLED灯に切り替え、維持管理は、現行の役割分担を基本に、地元自治会等が新たな設置や交換が必要な器具代金を負担し、市は電気代と交換にかかる工事費

を負担する。

◇関連質問

・LED照明の設置について（新政クラブ）

日韓囲碁対局の成果は

問

去る10月2日、3日の両日「21世紀の朝鮮通信使 日韓トップ囲碁対局・靑」が開催され、トップ棋士による対局の大盤解説会や、囲碁ファンとの百面打ち等で大いに盛り上がった。今回のイベントの成果は。

答

市内外から多くのお客さまを迎えることができ、マスコミやインターネットを通じて、会場となった靑のまちの情報発信ができ福山の知名度向上につながった。



対潮楼での日韓トップ棋士による対局

公明党

和田 芳明 議員

第四次福山市総合計画後期基本計画の策定方針は

問

第四次福山市総合計画の前期基本計画が、来年度で終了する。あらためて施策の目標と方向性を再検討・再構築していくとのことだが、後期基本計画の策定に向け、どのような視点と方針で取り組むのか。

答

現在、後期基本計画の策定に向け、まちづくりに関する市民の意向やニーズを把握するため、市民アンケートを実施している。策定に当たっては、「社会経済情勢の変化に対応したまちづくり」「市民の参加と協働によるまちづくり」「効率的な行政運営の推進」の3つの視点で、将来都市像の実現に向け、市民と共有のできるまちづくりの指針となるよう取り組む。

◇関連質問

・第四次福山市総合計画について（無所属）

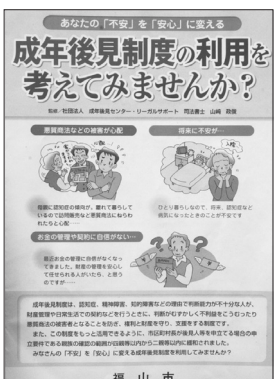
成年後見制度の普及啓発への取り組みは

問

近年、判断力を失った高齢者を狙った悪質商法のトラブルや、詐欺などの被害が社会問題化している。その対応策として成年後見制度の普及が期待されるが、いまだ広く一般化されていない。考えられる要因と、普及啓発への取り組みは。

答

要因としては、本人の判断能力が不十分となった場合でも、親族がいる場合には制度を活用することが少ないこと、判断能力が低下する前に制度を理解して利用するというのが市民に浸透していないこと、などが考えられる。普及啓発は、本市作成のパンフレットを配布するとともに、成年後見セミナーの開催や、出前講座を行っている。



市が作成した啓発用のパンフレット

※成年後見制度：家庭裁判所が選任する後見人が、判断能力が不十分な人の財産管理などを行う制度。